

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場	対象年度	令和6年度
------	--------------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価		
1. 維持管理業務		1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務		3
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業		4
II. サービスの質の確認・評価		5
III. 財務状況の確認・評価		6
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価		10
1. 目標		
2. 評価結果		
附表 経営状況分析シート		12

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場	対象年度	令和6年度
指定管理者	株式会社沖縄ダイケン 指定期間：令和4年4月～令和7年3月	所管課	土木建築部 都市計画・モノール課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
《日常清掃》 トイレ、EVホール、 階段、管理室の清掃 及びごみ搬出	○	○	毎日1名で清 掃実施	事業計画のと おり実施されて いる。	整合	業務仕様書で定め るとおり実施されて いる。
《定期清掃》 トイレ、EVホール、 階段の定期清掃 (ワックス清掃)	○	○	1回／3か月の 定期清掃実施	事業計画のと おり実施されて いる。	整合	業務仕様書上は、1 か月に1回の水洗い清 掃となっているが、日 常清掃で実施されてい る内容であるため、協 議の上、3か月に1度 のワックス清掃とし、 そのとおり実施されて いる。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
年間維持管理計画に 基づき業務を実施 ○駐車場設備保守点検 ○昇降機保守点検 ○トイレ脱臭・便器洗 浄器具の設置及び保 守 ○駐車場管制設備保守 点検 ○消防設備保守点検 ○建築設備点検 ○浄化槽維持管理保守 点検 ○植栽維持管理業務	○	○	概ね業務仕様 書のとおりに実 施しているが、 建築設備点検で 不備を指摘され た箇所（非常用 照明、防火扉） の修繕に時間を 要している。	建築設備点検 で不備を指摘さ れた箇所につい て、修繕に時間 を要している。 その他につい ては事業計画の とおり実施され ている。	点検後の措置 について改善を 要する。	修繕の遅れは、人手 不足のため業者の対応 が遅れたことが原因で あるが、指定管理者は 催促を行う等、早期の 修繕に努める必要が あった。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安業務	○		24時間有人で の管理体制によ り夜間巡回実施	事業計画のと おり実施されて いる。	整合	業務仕様書で定め るとおり実施されて いる。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
100万円未満の駐車 場の修繕	○	○	下記の修繕を実 施。 ○スロープ路面標 示追加 ○LEDライトパー 取替え ○光電センサー内 部ユニット取替 ○駐車場管制シ ステムPC用無停 電電源装置修理	建築設備点検 で不備を指摘さ れた箇所につい て、修繕に時間 を要しているこ とを除いては、 適切に実施され ている。	整合	概ね業務仕様書で 定めるとおりに実 施されている。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じた備品の購入	○		該当なし	-	-	-

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練	○		消防訓練を実施	事業計画のとおり実施されている。	整合	業務仕様書で定めるとおり実施されている。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
料金徴収業務	○		毎日の料金徴収。 令和5年度に発覚した職員による現金着服の反省から、次の取組を実施し、売上記録の管理を徹底している。 ○係員の複数配置 ○毎日の現金チェック ○ダブルチェック	事業計画のとおり実施されている。	整合	業務仕様書で定めるとおり実施されている。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	保守点検について、修繕の遅れが生じないよう次のとおり改善する。 - 指定管理者は、点検の年間実施計画を事業計画書に記載する。 - 指定管理者は、月報提出時に、その月に実施した点検の結果報告書を県へ提出する。 - 不備を指摘された箇所がある場合は、指定管理者は、月報にその旨と修繕のスケジュール（案）を記載する。県は、不備を指摘された箇所を現地確認する。 - 指定管理者は、修繕の完了した月の翌月の月報提出時に、完了報告書を県へ提出する。県は、修繕箇所を現地確認する。 その他については、業務仕様書で定めるとおり実施されており、問題ない。					
--------------------	---	--	--	--	--	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		5 年度実績	事業計画 (目標値)	6 年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	駐車場利用台数	199,393	218,000	245,768	123.3%	112.7%	定期利用、一般利用ともに増加している。 てだこ浦西駅の利用者数も増加（前年比120.2%）しており、モノレールへの乗換えが促進された。
	定期駐車契約件数 （3月31日時点）	745	800	801	107.5%	100.1%	
	売上高 （利用料金収入）	92,915,810	102,120,000	123,275,520	132.7%	120.7%	

評価（①利用状況）

S

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

2) 施設稼働率

		5 年度実績	事業計画 (目標値)	6 年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
平日平均駐車台数		643.9	700	817.5	127.0%	116.8%	稼働率は向上しているが、引き続き休日の利用増に向けた取組が必要である。
土日平均駐車台数		253.7	300	378.3	149.1%	126.1%	
回転率 （1区画当たりの1日の利用回数）		0.55	0.60	0.68	123.6%	113.1%	回転率は前年度比で上昇しており、平均駐車時間が長いことも施設の設置目的に沿っている。
平均駐車時間 （1台当たりの平均駐車時間） 単位：時間		16.35	16.50	17.65	108.0%	107.0%	
修正回転率（回転率×平均駐車時間） （1区画当たりの平均占有時間） 単位：時間		8.98	9.5	11.98	133.5%	126.1%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価（①利用状況）

S

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	（事業報告書）	（現地確認）		
開館日数	年中無休	条例に基づき実施されている。	整合	条例、業務仕様書で定めるとおりに実施されている。
開館時間	5:00 - 25:00	条例に基づき実施されている。	整合	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
電話対応、定期券受付等	○		電話対応、定期券受付を実施。	適切に対応している。	整合	業務仕様書で定めるとおりに実施されている。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
広告宣伝の実施	○		那覇空港でデジタルサイネージ広告を実施した。	適切に実施している。	整合	事業計画に基づく内容で実施されている。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報管理	○		書類情報媒体等は施錠可能なキャビネットに保管。	重要書類はキャビネットに入れ施錠し、部外者が入っても見られないように管理している。	整合	業務仕様書で定めるとおりに実施されている。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
自動販売機事業	○		駅のバス停近くに飲料自動販売機4台を設置し、常時運営を行った。	毎月の収入報告及び帳簿により状況を確認した。	整合	業務仕様書で定めるとおりに実施されている。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	定期駐車契約件数は目標の800台を超え、一般駐車台数も増加しているため、今後は、定期契約キャンセル待ちシステムの適正な運用や満車空車情報の提供等、利便性の向上に努める。 また、令和7年度からは、自主事業としてカーシェアリング事業を実施する（参考：令和7年度からの指定管理者はてだこ浦西駅パークアンドライド管理運営共同企業体だが、代表団体は株式会社沖縄ダイケンである。）。					
-----------------------------	--	--	--	--	--	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		Webアンケート（QRコード読取り）		回答者数		146		アンケート内容		別紙参照	
評価項目		第三者（利用者等）評価					指定管理者		現状分析・課題		
		5年度評価		6年度目標	6年度評価						
維持管理業務	施設・設備管理	〈満足度〉100% ・満足68% ・やや満足32% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉90%	〈満足度〉96% ・満足20% ・やや満足76% ・やや不満3% ・不満0%		S	駐車台数の増加により、一般車が入庫できず、入口で詰まる事例が増えています。 雨天時は入口に人員を配置するなど対応を進めています。		概ね利用者が求めている水準は達成できている。		
				〈改善要望〉 雨天時の入口渋滞（3件）							
運営業務	接客対応	〈満足度〉96% ・満足31% ・やや満足65% ・やや不満4% ・不満0%	〈満足度〉90%	〈満足度〉93% ・満足14% ・やや満足79% ・やや不満6% ・不満0%		S	上記満車状態などに伴って、苛立った言動のお客様が増えており、冷静な対応を心がけております。 キャッシュレス実装は好意的に受け止められております。		概ね利用者が求めている水準は達成できている。		
				〈改善要望〉 キャッシュレス決済対応 →令和7年5月対応済							
	施設・設備	〈満足度〉98% ・満足42% ・やや満足56% ・やや不満2% ・不満0%	〈満足度〉90%	〈満足度〉95% ・満足12% ・やや満足83% ・やや不満4% ・不満0%		S	駐車台数増加により、屋上階への駐車も増加し、屋根を付けてほしい希望があります。 その他の施設は清潔度に対する感謝の言葉もあります。		概ね利用者が求めている水準は達成できている。		
				〈改善要望〉 屋上に屋根をつけてほしい（2件）							
	施設案内	〈満足度〉83% ・満足20% ・やや満足63% ・やや不満17% ・不満0%	〈満足度〉90%	〈満足度〉80% ・満足9% ・やや満足71% ・やや不満21% ・不満0%		A	逆走・逆行が見られるとの意見が増えています。案内標識の更新や増設を検討しています。		概ね利用者が求めている水準は達成できていると思われるが、逆走については対策を実施する必要があります。		
〈改善要望〉 逆走・逆行が減らない。（6件） →案内表示を増やす。											
安全性	〈満足度〉89% ・満足27% ・やや満足62% ・やや不満10% ・不満1%	〈満足度〉90%	〈満足度〉90% ・満足20% ・やや満足70% ・やや不満9% ・不満0%		S	継続して場内巡回で対応していきます。		概ね利用者が求めている水準は達成できていると思われるが、逆走については対策を実施する必要があります。			
			〈改善要望〉 逆走・逆行が減らない。（6件） →案内表示を増やす。								
総合評価 （各評価項目の平均）		〈満足度〉94%	〈満足度〉90%	〈満足度〉91% ・満足15% ・やや満足76% ・やや不満8% ・不満0%		評価 （②満足度）		（自己評価） 概ね良い評価をいただいておりますが、利用者の急激な増加により思わぬトラブルやクレームも増えておりますので、より細やかな対応を心がけていきます。	概ね利用者が求めている水準は達成できていると思われるが、利用者の増加に伴う渋滞等に対し、不満が生じている。全ての要望に対応することは難しいが、優先順位をつけて対策を実施していく。		
				S							

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 取組改善案	これまではキャッシュレス決済対応への要望が最も多かったが、令和7年5月に精算機でのキャッシュレス決済が可能となつてからは、逆行・逆走に対する指摘が増加している。 改めて路面標示や標識などを見直し、必要なものから順次追加・更新を行う。
--------------------------	---

※「Ⅱ. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度（ $\alpha + 1$ 年度）の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		5 年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	6 年度実績	前年比		計画比		特記事項 (変更理由等)
						(金額)	(%)	(金額)	(%)	
利用料金 収入	普通駐車料金	63,883,140	71,064,000		89,424,910	25,541,770	140.0%	18,360,910	125.8%	
	定期駐車料金	29,032,670	30,456,000		33,850,610	4,817,940	116.6%	3,394,610	111.1%	
	計	92,915,810	101,520,000	0	123,275,520	30,359,710	132.7%	21,755,520	121.4%	
指定管理料		0	0	0	0	-	-	-	-	
自主事業 収入	自動販売機収入	720,510	600,000		743,317	22,807	103.2%	143,317	123.9%	
	計	720,510	600,000	0	743,317	22,807	103.2%	143,317	123.9%	
合計（A）		93,636,320	102,120,000	0	124,018,837	30,382,517	132.4%	21,898,837	121.4%	
〈現状分析・課題〉										
利用料金収入は123,276千円（前年比約133％）となり、順調に売上を伸ばしている。										

(2) 支出

支出項目	5年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	6年度実績	前年比		計画比		特記事項 (変更理由等)
					(金額)	(%)	(金額)	(%)	
人件費	27,915,678	27,600,000		29,608,229	1,692,551	106.1%	2,008,229	107.3%	時給の上昇に伴う人件費の増
修繕費	2,521,200	3,000,000		1,268,000	-1,253,200	50.3%	-1,732,000	42.3%	台風被害がなかったことによる修繕料の減
旅費交通費	25,670	60,000		30,060	4,390	117.1%	-29,940	50.1%	
通信費	90,955	120,000		100,744	9,789	110.8%	-19,256	84.0%	
備品購入費	352,786	100,000		0	-352,786	皆減	-100,000	皆減	
消耗品費	749,763	940,000		1,072,853	323,090	143.1%	132,853	114.1%	利用者の増に伴う精算機用ロール紙等購入費の増
支払手数料	498,155	0		821,564	323,409	164.9%	821,564	皆増	利用料金収入の増に伴うキャッシュレス決済手数料の増
廃棄物処理費	80,400	0		80,400	0	100.0%	80,400	皆増	
広報費	343,500	500,000		742,500	399,000	216.2%	242,500	148.5%	
光熱水費	4,358,991	6,000,000		4,589,136	230,145	105.3%	-1,410,864	76.5%	
委託料	10,368,428	10,330,000		10,369,790	1,362	100.0%	39,790	100.4%	
保険料	241,475	428,000		244,635	3,160	101.3%	-183,365	57.2%	
リース料	117,822	120,000		105,600	-12,222	89.6%	-14,400	88.0%	
公租公課	0	0		4,002	4,002	皆増	4,002	皆増	
固定・剰余納付金	31,897,000	10,650,000		48,450,000	16,553,000	151.9%	37,800,000	454.9%	収入の増に伴う剰余納付金の増
合計（B）	79,561,823	59,848,000	0	97,487,513	17,925,690	122.5%	37,639,513	162.9%	
〈現状分析・課題〉 利用料金収入が大きかったため、収入額に応じて県に納付する剰余納付金が大幅増となっている。 また、人件費の増加や物価高に伴い、その他の管理費についても増加している。									

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	5 年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	6 年度実績	前年比		計画比		特記事項 (変更理由等)
					(金額)	(%)	(金額)	(%)	
事業収支 (C) (収入(A)－支出(B))	14, 074, 497	42, 720, 000		26, 531, 324	12, 456, 827	188. 5%	-16, 188, 676	62. 1%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(A))	15. 0%	41. 4%		21. 4%	－	142. 3%	－	51. 7%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	99. 2%	99. 4%		99. 4%	－	100. 2%	－	100. 0%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	35. 1%	46. 1%		30. 4%	－	86. 6%	－	65. 9%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	13. 0%	17. 3%		10. 6%	－	81. 6%	－	61. 6%	
1 台当たり管理コスト (支出(B)／利用者数)	399	275		397	(2)	99. 4%	122	144. 5%	納付金を除いた場合の 1 台 当たり管理コストは200円 (R 5 : 239円)。
1 台当たり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	－	－	－	－	－	－	－	－	令和 4 年度以降は指定管理 料の支出なし。
〈現状分析・課題〉 令和 6 年度の収支状況はよいものの、開業から 5 年が経過し、利用台数も増加していることから、施設の修繕要求が増えており、細やかで早めの対応が必要となってきた。物価 高等も考慮すると、管理コストはここから上昇していくものと考えられる。									

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価 (③財務状況)	A	【評価基準 (③財務状況)】 収益率 (事業収支／収入合計) A : 0%以上 B : -5%以上、0%未満 C : -5%未満
------------	---	--

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	最大同時利用台数は連日950台を超え、一般駐車の入庫を断ることもあり、キャパシティの限界点に達しつつある。 令和 6 年度の財務状況は良好であるものの、今後は、管理コストの上昇が見込まれる一方、利用台数の増加に伴う収入の増加が見込めないこと から、利用料金の改定を検討していく必要がある。
------------------------	--

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。（コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど） ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

Ⅳ．総合評価

1．目標

評価項目		評価指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	年間 利用台数	254,000	257,000	259,000	260,000	連日ほぼ満車状態になる現況から、今後、利用台数の伸びは非常に緩やかになっていくと考える。
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	S評価を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率	4.00%	4.00%	4.00%	4.00%	県への納付金額が増加することにより支出が増えるため、令和6年度実績よりも低い数値となっている。

2．評価結果

評価項目		評価指標	5年度 実績	事業計画 (目標値)	6年度 実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	7年度 目標値
成果指標	①利用状況	定期駐車 契約台数	745	800	801	107.5%	100.1%	順調に利用者を伸ばし、令和6年5月には目標であった定期駐車契約台数800台を達成。多少の増減はあるものの、定期契約台数はその後も800台前後を維持している。	A (10)	今後、定期駐車契約台数は800台前後を維持し続けることが見込まれるため、評価指標を年間利用台数に変更し、普通駐車を含めた利用台数の増加に努める。	254,000
	②満足度	満足度	94%	90%	91%	96.8%	101.1%	要望の多かったキャッシュレス決済が実装完了した。次の課題として、満車状態が頻発し、入庫できない一般利用者や、入口の渋滞といった問題が浮かんできた。	S (20)	利用者からの要望を分析し、指定管理者又は県が対応できる範囲において、迅速かつ適切な対応を行う。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	15.0%	15.0%	21.4%	142.3%	142.6%	広告宣伝の効果により利用者が増加し、収益率が向上している。	A (5)	県への納付金額が増加することにより、収益率は令和6年度実績より低くなる見込みである。	4.00%
活動指標	④重点取組事項	利用者増加に向けた広告宣伝の実施 (目標値は年度末時点の定期駐車契約台数)	745	800	801	107.5%	100.1%	広告宣伝の実施により順調に利用者を伸ばし、令和6年5月には目標であった定期駐車契約台数800台を達成。多少の増減はあるものの、定期契約台数はその後も800台前後を維持している。	A (5)	利用台数は順調に伸びているため、利用者の利便性向上のための対策（満車空車情報の提供等）を実施する。（目標値は年間利用台数とする。）	254,000

総合評価	利用台数は増加している。一般駐車車両の増加が大きい、那覇空港利用者と推測される24時間以上の駐車も増加しており、施設の設置目的に沿った利用がなされていると考えられる。 しかし、利用台数の急激な増加により、定期契約者のキャンセル待ちが200名を超える、出入口で渋滞が発生する等の課題が発生しているため、より細やかな対応が求められてきている。 また、令和6年度の財務状況は良好であるものの、今後は、施設の経年劣化に伴う修繕費の増加等により管理コストの上昇が見込まれる一方で、駐車場のキャパシティが限界に達しつつあり、利用台数の増加に伴う収入の増加が見込めないことから、良好な財務状況を維持していくために利用料金の改定も検討していく必要がある。	S (40)
------	---	-----------

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。
※「 α ＋1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	－	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	－10	－10	－5	－5

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目において C評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート 【施設名称：てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場】

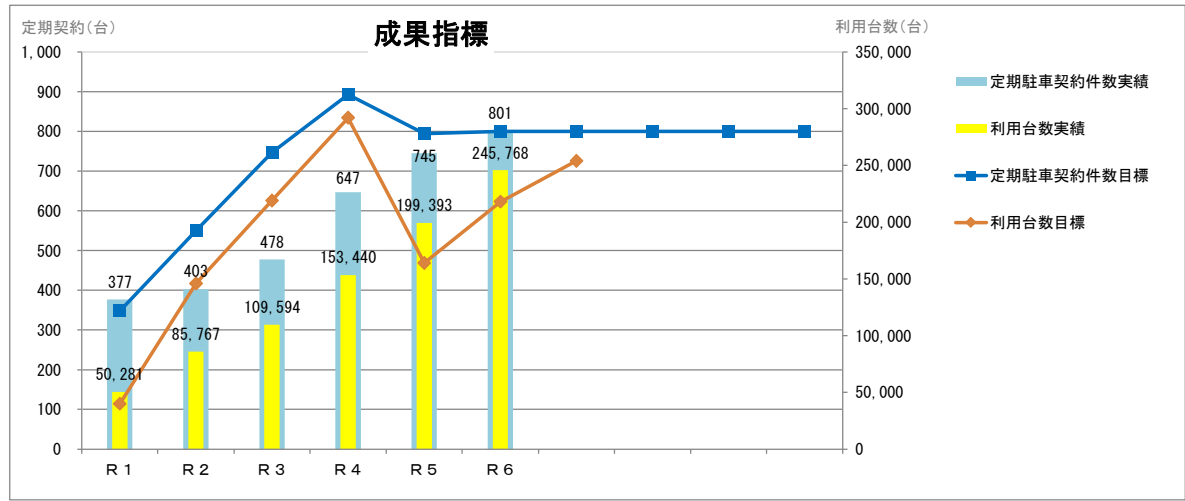
指標			指定管理（利用料金制）															
			単位	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15
成果指標	利用台数	目標	台	40,000	146,000	219,000	292,000	164,000	218,000	254,000								
		実績	台	50,281	85,767	109,594	153,440	199,393	245,768									
		目標比	%	125.7%	58.7%	50.0%	52.5%	121.6%	112.7%									
		前年比	%	－	170.6%	127.8%	140.0%	129.9%	123.3%									
	定期駐車契約件数	目標	台	348	550	747	893	794	800	800								
		実績	台	377	403	478	647	745	801									
		目標比	%	108.3%	73.3%	64.0%	72.5%	93.8%	100.1%									
		前年比	%	－	106.9%	118.6%	135.4%	115.1%	107.5%									
財務指標	収入計		千円	42,632	51,879	53,105	61,095	93,636	124,019									
	指定管理料		千円	18,878	24,132	16,167	0	0	0									
	利用料金収入		千円	23,754	27,277	36,378	60,471	92,916	123,276									
	その他（自動販売機等）		千円	0	470	560	624	720	743									
	利用料金比率（利用料金収入／収入計）		%	55.7%	52.6%	68.5%	99.0%	99.2%	99.4%									
	管理費計（納付金を含む。）		千円	33,996	44,512	48,810	58,471	79,562	97,488									
	業務運営費		千円	33,996	44,512	48,810	43,971	47,665	49,038									
	県への納付金		千円	0	0	0	14,500	31,897	48,450									
	県納付割合（納付金／管理費計）		%	0.0%	0.0%	0.0%	24.8%	40.1%	49.7%									
	利用料金比率（業務運営費／収入計）		%	79.7%	85.8%	91.9%	72.0%	50.9%	39.5%									
	県負担割合（指定管理料／管理費計）		%	55.5%	54.2%	33.1%	0.0%	0.0%	0.0%									
	収支		千円	8,636	7,367	4,295	2,624	14,074	26,531									
	収益率（収支／収入計）		%	20.3%	14.2%	8.1%	4.3%	15.0%	21.4%									
/単位	1台当たり管理コスト		円	676	519	445	287	239	200									
	1台当たり指定管理料		円	375	281	148	0	0	0									
	1台当たり利用料金収入		円	472	318	332	394	466	502									

財務指標

（単位：千円）

指標	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
指定管理料	18,878	24,132	16,167	0	0	0
利用料金収入	23,754	27,277	36,378	60,471	92,916	123,276
業務運営費	33,996	44,512	48,810	43,971	47,665	49,038
納付金	0	0	0	14,500	31,897	48,450

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和6年度	利用台数・定期契約件数とも目標値を超え、収入も伸びている。収入が基準額を超えたため、固定納付金10,650千円に加え、剰余納付金37,800千円を県へ納付した。
令和5年度	当該年度から固定納付金（令和5年度：5,297千円）を納付。収入だけで管理運営を行ったが、収入は伸びており、固定納付金5,297千円のほかに剰余納付金26,600千円を県へ納付した。
令和4年度	指定管理料はなし。収入だけで管理運営を行ったが、収入は伸びており、県への剰余納付金14,500千円を納付した（固定納付金は0円。）。
令和3年度	指定管理料最終年度。

